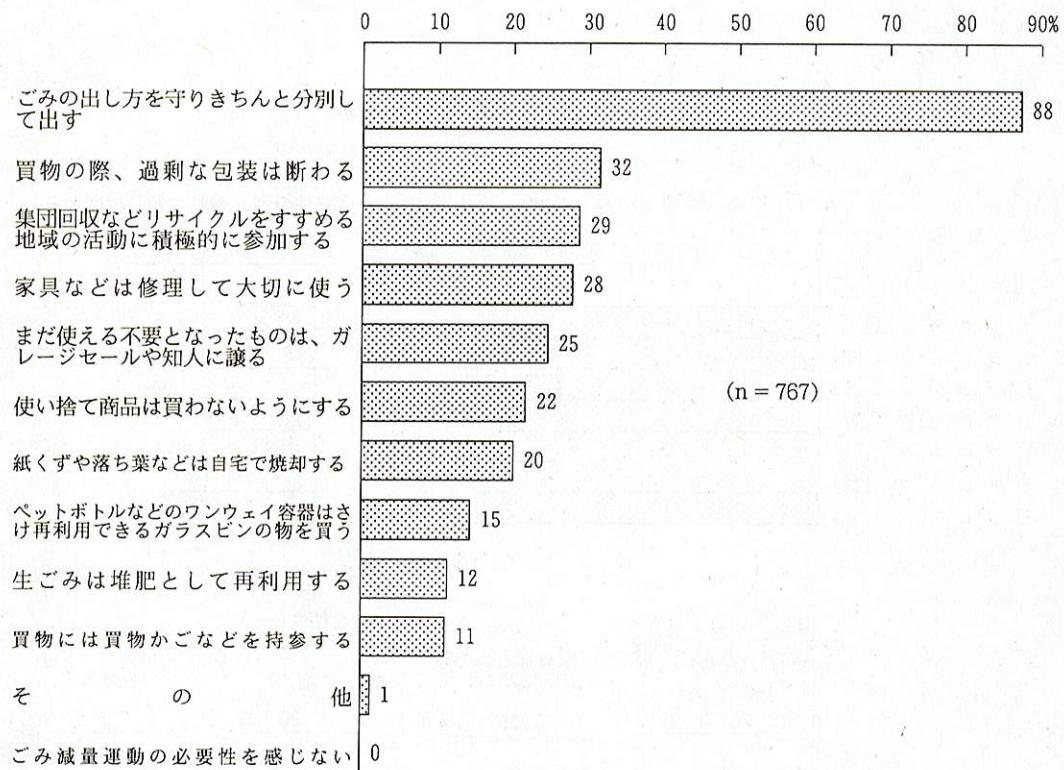


## 8. ごみ減量とリサイクル

### 8-1 ごみ減量の方法

問16 [回答票] あなたは、ごみを減らすために、どのようなことをしていますか。この中から、あげてください。(○はいくつでも)



ごみ減量の方法としては、「ごみの出し方を守りきちんと分別して出す」をあげた人が88%と、最も多くなっている。大きく離れて、「買物の際、過剰な包装は断わる」(32%)、「集団回収などリサイクルをすすめる地域の活動に積極的に参加する」(29%)、「家具などは修理して大切に使う」(28%)をそれぞれ3割前後の人があげている。以下「まだ使える不要となったものは、ガレージセールや知人に譲る」(25%)、「使い捨て商品は買わないようにする」(22%)、「紙くずや落ち葉などは自宅で焼却する」(20%)などとなっている。

地域別にみると、「ごみの出し方を守りきちんと分別して出す」という人は、Bブロック(97%)とGブロック(91%)で9割を超えており、また、「集団回収などリサイクルをすすめる地域の活動に積極的に参加する」という人は、Bブロック(35%)、Cブロック(34%)、Fブロック(35%)で3割を超えている。

性別にみると、どの選択肢も女性の方が男性より高くなっている、「買物の際、過剰な包装は断わる」(男性25%、女性37%)では12ポイント、「集団回収などリサイクルをすすめる地域の活動に積極的に参加する」(男性23%、女性34%)などでは11ポイント以上女性の方が回答率が高くなっている。

性・年齢別にみると、「買物の際、過剰な包装は断わる」という人は女性の40代(43%)で最も高くなっている。「集団回収などリサイクルをすすめる地域の活動に積極的に参加する」という人も、40代の女性で51%と最も高くなっている。「家具などは修理して大切に使う」という人は50代の女性で最も高くなっている。

図8-1 ごみ減量の方法(地域別)

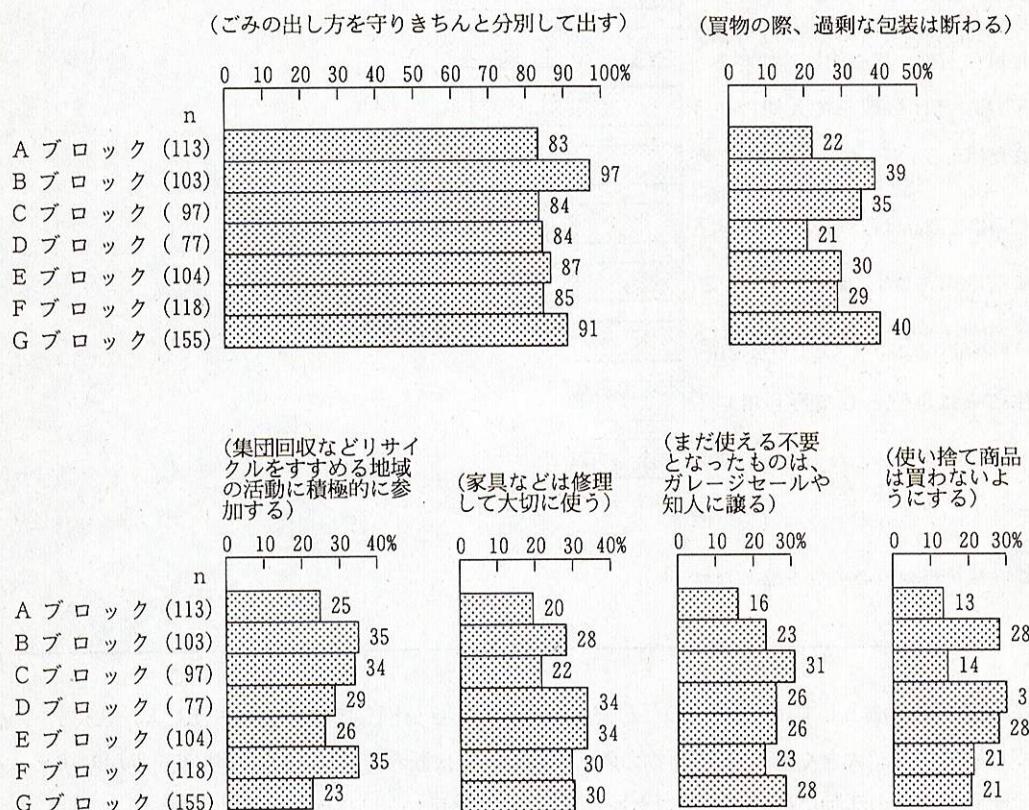
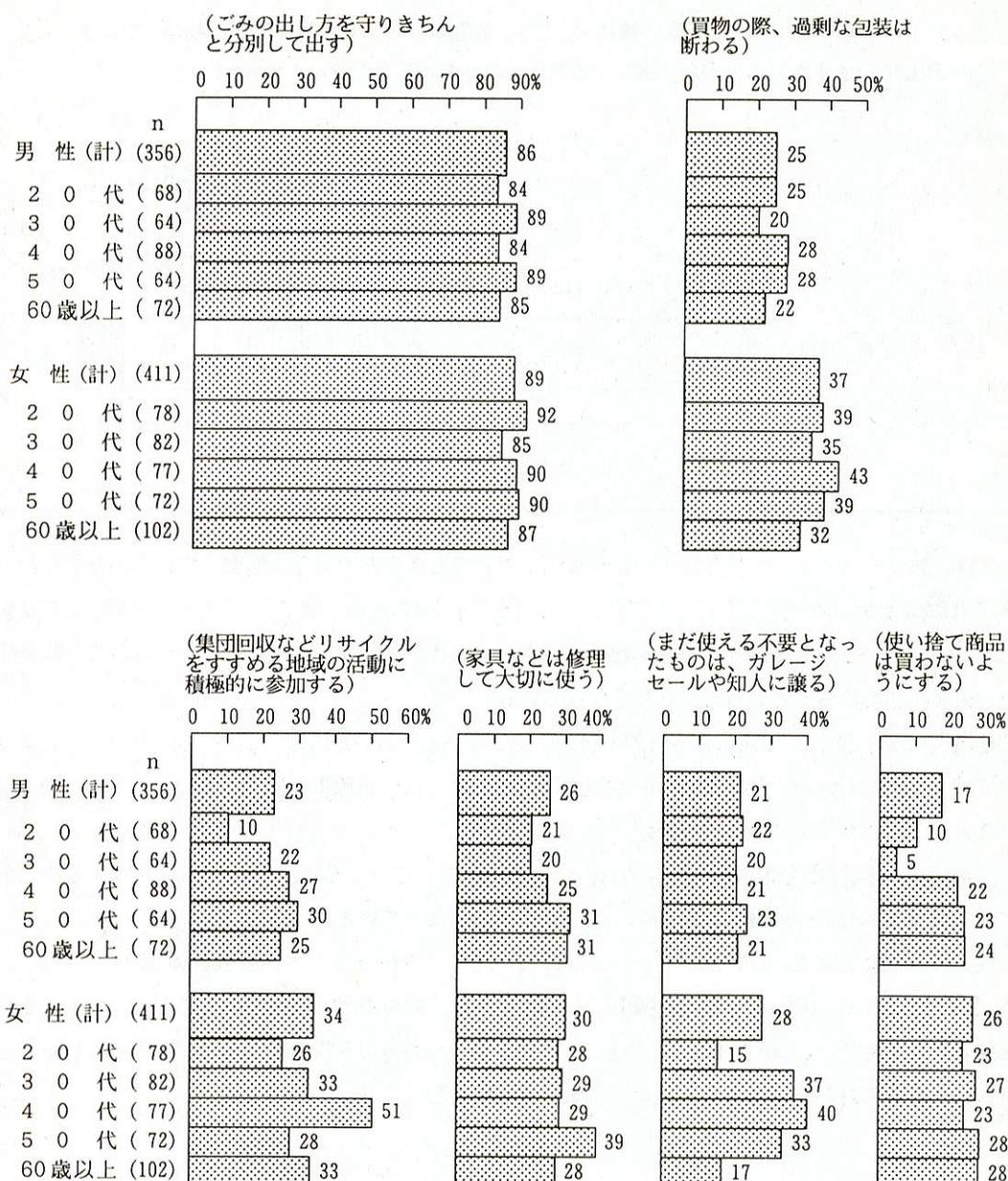
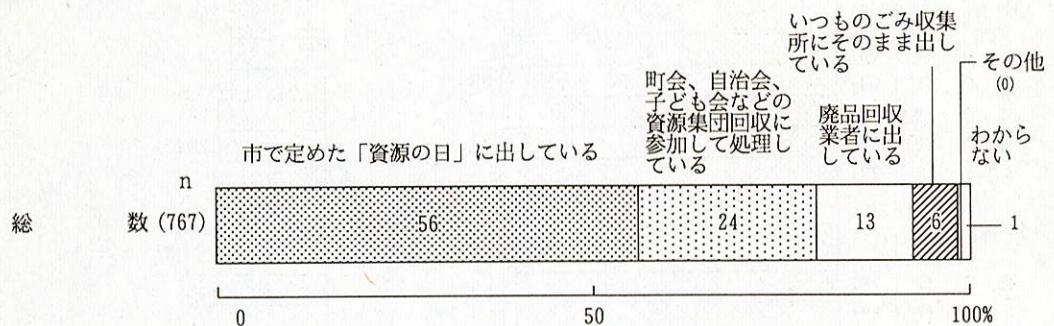


図8-2 ごみ減量の方法（性・年齢別）



## 8-2 再利用ごみの処理方法

問17 [回答票] あなたは、新聞、雑誌、空ビン、鉄類などの再生できる物は、どのように処理していますか。この中から主なものを1つだけあげてください。(○は1つ)



新聞、雑誌、空きビン、鉄類などの再生できるものをどのように処理しているかたずねたところ、「市で定めた『資源の日』に出している」という人が56%と過半数で、「資源集団回収に参加し処理している」という人が24%、「廃品処理業者に出している」という人が13%、「いつものごみ収集所にそのまま出している」という人が6%となっている。

地域別にみると、「市で定めた『資源の日』に出している」という人はAブロック(60%)、Cブロック(65%)、Fブロック(62%)で6割を超えている。また、「資源集団回収に参加し処理している」という人は、Dブロックで36%と、最も高くなっている。

性別に見ると、「市で定めた『資源の日』に出している」という人は、女性では62%であるのに対して、男性では49%と、女性の回答率が13ポイント高くなっている。

性・年齢別に見ると、「市で定めた『資源の日』に出している」という人は女性の30代(65%)、50代(67%)、60代(68%)で6割を超えている。また、「資源集団回収に参加し処理している」という人は、男女とも40代で最も高くなっている。また、「いつものごみ収集所にそのまま出している」という人は男性の20代では18%と、他の年齢層に比べ高い割合となっている。

図8-3 再利用ゴミの処理方法（地域別）

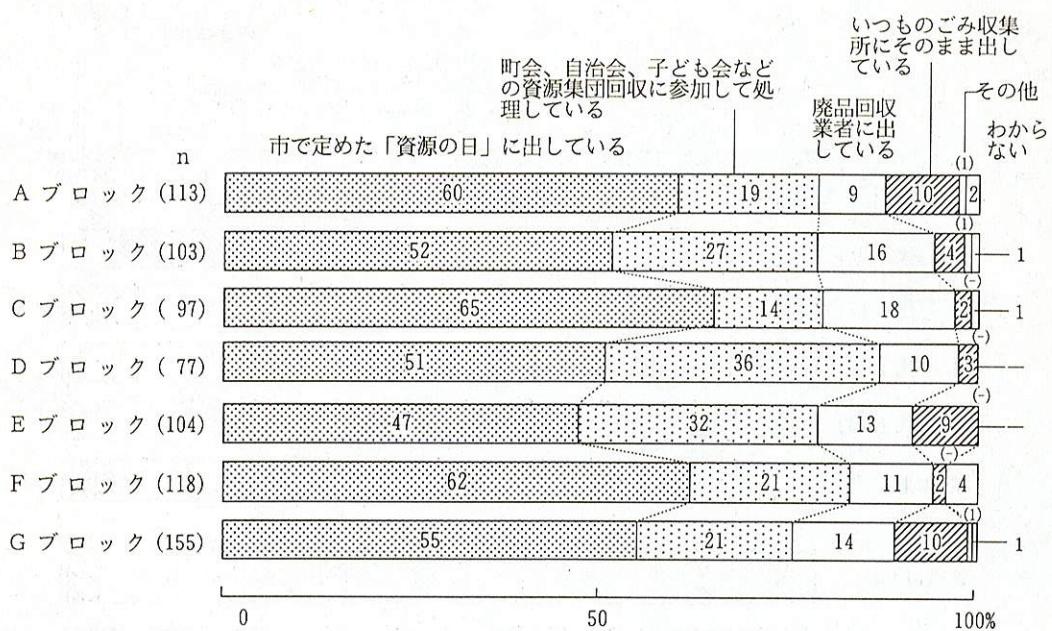
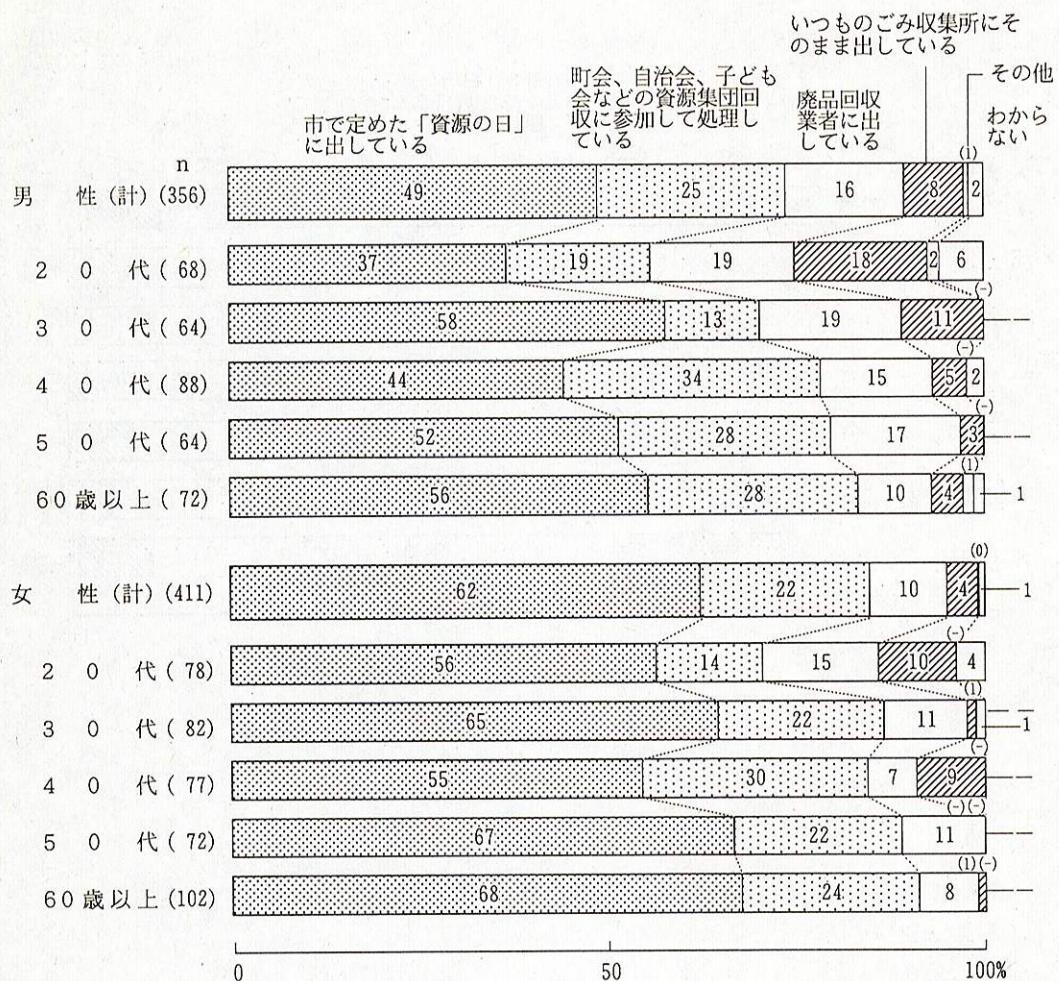
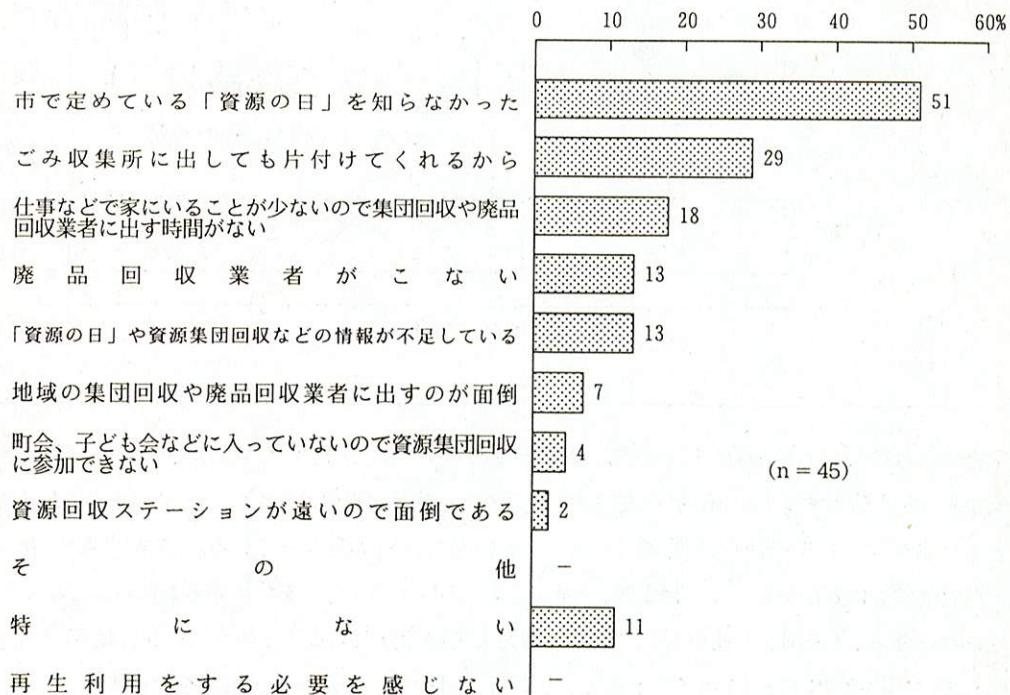


図8-4 再利用ゴミの処理方法（性・年齢別）



### 8-3 再利用ごみをそのまま出している理由

問17-1 [回答票] いつものごみ収集所にそのまま出しているというのはどういう理由からですか。この中から2つまであげてください。(○は2つまで)



問17で「いつものごみ収集所にそのまま出している」と答えた人(45人)にその理由を尋ねたところ、「市で定めている『資源の日』を知らなかった」という人が51%と最も多くなっている。次いで「ごみ収集所に出しても片付けてくれるから」(29%)を3割近くの人があげている。

以下、「仕事などで家にいることが少ないので集団回収や廃品回収業者に出す時間がない」(18%)、「廃品回収業者がこない」(13%)、「『資源の日』や資源集団回収などの情報が不足している」(13%)などとなっている。